

災害医療歯科学演習

Seminar of Disaster Relief Medicine/Dentistry

キーワード

- ① 災害医療歯科学
- ② 法歯科学
- ③ 法医学
- ④ 身元確認
- ⑤ 法医解剖

授業概要

災害は、時間・場所・災害の種類などで様々な様相を呈し、それらに対して十分な検討を行い、対策を準備する必要がある。そこで、本演習では、被害想定を直下型地震、海溝型地震、台風によるがけ崩れやテロなどに設定し、さらに歯科医療が担う役割を検討しシミュレーション法を身につける。また、そのシミュレーションを通じて災害時の歯科医療について課題を見出すとともに、災害医療歯科学における俯瞰的な判断を行う素養を身につけ、各大学院生の研究活動における多角的な検証を行うことを目的として開講する。

授業科目の学修目標

災害の種類とそれぞれの特性を理解して、必要とされる歯科医療について認識する。さらに災害をシミュレートして適切な治療法を身につける。歯学部で唯一法医解剖を実施している大学として、司法解剖時の身元確認に関連するDNA鑑定、身元不明者の生前の歯科的資料を用いた身元確認を実際の法医解剖体験を通して修得する。

授業計画

- ① 災害の種類と対処法についてのシミュレーション実習 6コマ 長谷川巖
- ② 地域災害計画とセンターの連携のシミュレーション実習 3コマ 長谷川巖
- ③ 災害時の保存・補綴・口腔外科実習 6コマ 長谷川巖
- ④ 災害時の口腔ケア実習 3コマ 長谷川巖
- ⑤ 身元確認実習 12コマ 長谷川巖

教科書および参考書

1. 法歯科学、高橋雅典監修、永末書店
2. 法医学実習マニュアル

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

過去の大規模な災害で必要であった歯科医療を確認する。臨床科目については一般的な治療法を充分修得しておく。法医解剖に臨むに当たり解剖学を復習修得しておく。災害時を想定して緊張感を持ち真剣に取り組むこと。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① 災害の種類と対処法について説明できる。
- ② 地域災害計画とセンターの連携を説明できる。
- ③ 災害時の保存・補綴・口腔外科治療を行うことができる。
- ④ 災害時の口腔ケアを行うことができる。
- ⑤ 身元確認作業を行うことができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
0%	0%	30%	60%	0%	10%	0%

評価の要点

- ・授業項目ごとに理解度を確認するためレポートと口頭試問を行う。
- ・成果発表は、本演習で身についたことについての発表・質疑応答の内容を総合的に評価する。
ディスカッション・ディベート・課題発表：各20%=60%

理想的な達成レベルの目安

災害時の歯科医療を立案・実行できる災害コーディネーターを目指す。身元確認作業においても法医学的知識を身につけ死因究明までできる歯科医師を目標とする。